

# 静私公たより



お空におえかきしてるみたいだね

- 理事長挨拶、新私学振興課長挨拶
- 定時総会
- 特集「幼稚園ICT化計画(その4)」 井内 聖
- 特集「乳幼児期におけるアタッチメントと非認知的な心の発達(その2)」 遠藤 利彦
- コミュニティ(保育の窓)
- もの思い(西ヶ丘幼稚園／焼津幼稚園)
- 健康随想「新型コロナウイルスと子ども・保護者の健康」 宮入 烈
- ナイスショット&編集後記



NO.192  
2021 7  
Summer



## 工夫をしよう

(一社) 静岡県私立幼稚園振興協会  
理事長

千葉 一道



「工夫」は禅語から来た日常語です。禅語における意味は、一心に修行に励むことをいいます。坐禅は「静の工夫」、作業(作業)は「動の工夫」です。工夫とは、良い方法や手段を見つけようとして、考えを巡らすことをいいます。

昨年から「新型コロナウイルス」の影響で、世界中の人々が未曾有の状況に右往左往させられました。医療関係従事者、介護士、幼稚園教諭や保育士などは人との接触が最も多く、感染のリスクが高い職業であります。それでも感染対策を施し、使命感を持ち「工夫」しての従事は頭の下がる思いであります。このような状況下でも、それぞれの園は創意工夫により子どもたちの登園が可能になり、行事も実施できていることに感謝申し上げます。

人は日常的に新しいことに挑戦し、社会が発展してきました。平素の作業ができない時は、視点を変えて見るのが新しい発見に繋がります。諦めないで工夫すれば、前に進むことができます。まだまだコロナ禍が続くでしょう。皆さんで知恵を出し合い、「工夫」をして子どもたちの安全で安心できる幼児教育のために頑張っていきましょう。

昨年の当協会創立 50 周年式典はコロナ禍のため、縮小して実施させていただきました。会員の皆様には、多大なご協力をいただきました、ありがとうございます。今年度は 50 周年事業の講演会を来年 2 月に予定しています。改めて後日ご案内させていただきます。

令和 3 年度の協会事業も、例年同様の計画をしておりますが、コロナ禍で変更が生じる場合があります。最善の「工夫」をしながら実施できるよう努力してまいりますので、会員各位のご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

会員園におきましても、新制度移行園が増えてまいりました。私学助成園と新制度移行園がほぼ同数になりましたが、私たちの目指すところは「私立幼稚園教育の充実と振興」並びに「幼稚園経営の安定を図る」であります。子どもたちの健やかな成長と協会発展のため、今こそ会員がひとつとなり「工夫」をもって精進することが必要であります。今後ともご理解並びにご協力を賜りますようお願い致します。

終わりに、先に報道されました全日本私立幼稚園連合会の不祥事につきまして、会員各位並びに保護者様に多大なご心配とご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び致します。本協会の運営には特に支障がありませんことをお伝え致します。

会員園の益々のご発展と会員園にお勤めのすべての皆様のご健勝をご祈念申し上げ、更には新型コロナウイルスの早期収束を願い、ご挨拶と致します。本年度も宜しくお願い致します。

## 魅力的で特色ある 幼児教育への期待

静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局  
私学振興課長

奥山 貴弘



今年度、私学振興課長に就任いたしました奥山貴弘です。日頃から、私ども私学振興課の業務について、御理解と御協力をいただくとともに、本県のような施策に御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。皆様とともに、私立幼稚園の振興に向けて頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、昨今のコロナ禍において、最大限の感染防止対策を講じ、教育・保育の継続に並々ならぬ御尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、本県は、「富国有徳の『美しい“ふじのくに”』づくり」を県政運営の基本理念に掲げており、その礎は「人」であり、教育は大変重要であると考えております。平成 30 年 3 月には、「ふじのくに『有徳の人』づくり大綱」と「静岡県教育振興基本計画」を策定し、個人として自立し、人との関わり合いを大切にしながら、よりよい社会づくりに参画し、行動する人、すなわち「有徳の人」の育成を進めております。

近年、少子化や核家族化、地域のつながりの希薄化など、家庭や地域で幼児同士が触れ合う機会が減少するなど、子どもを取り巻く環境が変化してきている中、幼稚園におけ

る教育は、生活習慣や道徳性、好奇心や探究心を養い、創造性を豊かにするなど、「有徳の人」の基礎づくりとして、一層重要となると考えております。

県といたしましては、私立幼稚園の自主性、独自性を生かした魅力ある幼稚園づくりへの支援などを通じて、幼児教育の充実に努めてまいります。

一方、近年、災害が相次いで起こるなど、防災対策、危機管理も重要となっております。特に、南海トラフ地震の発生が強く懸念される本県においては、子どもや教職員の生命を守るため、園舎の耐震化を喫緊の課題と考えております。県では「命を守る教育」を実現するため、私立幼稚園における園舎等の耐震化を進める支援を行っております。本県の私立幼稚園の耐震化率は令和 2 年度末で 97.1% となっております。未耐震施設のある幼稚園におかれましては、対応策と一緒に考えてまいりますので、御協力をお願いいたします。

今後とも、職員一同、皆様とともに、私立幼稚園の振興、発展に真摯に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人静岡県私立幼稚園振興協会の第69回定時総会が、5月25日(火)ホテルグランヒルズ静岡において、174人の社員が出席(委任状を含む)し、静岡県スポーツ・文化観光部長 植田基靖様、同総合教育局長 吉良光陽様、同私学振興課長 奥山貴弘様をお迎えし盛大に開催されました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会場での食事の提供を取り止め、正午からの開催としたほか、会場面積を例年の2倍とし席の間隔を十分に確保するなど、各種の対策が講じられました。



総会は、千葉理事長の挨拶から始まりました。「コロナ禍の中で大変ご苦勞されながら安全・安心な幼児教育に尽力されている各園への感謝」をはじめ、「創立50周年を迎えた当協会が新時代において子どもたちの利益のために一層貢献していくには加盟園の皆様と心をつなげていくことが重要」などを述べられました。

続いて、教育振興に多大な功績を残されている方々への表彰が行われました。県の植田部長から私立学校教育



振興功勞知事表彰が、また千葉理事長から理事長・設置者、園長永年勤続表彰が授与されました。受賞者の方々の功績に対して会場の皆様から

盛大な拍手が送られました。受賞者を代表して学校法人ふたば学園理事長、水窪幼稚園園長の西岡とき子様から謝辞が述べられました。

来賓祝辞では、県の植田部長から『安心して子どもを育てることができる社会の実現』『すべての子どもが大切にされる社会の実現』を柱として、幼児教育の一層の振興に取り組んでいくと、力強いお言葉を頂きました。

その後、千葉理事長が議長となり議事が進行され、第1号議案「令和2年度事業報告及び財務状況報告」が原案通り可決されました。

また、報告事項として2社員(3園)の退会と、社員である法人が設置する2園の新規加入が報告されました。

### ●令和3年度私立学校教育振興功勞知事表彰

学校法人花園学園理事長	
梅花幼稚園園長	林 幸枝氏
学校法人ふたば学園理事長	
水窪幼稚園園長	西岡 とき子氏

### ●令和3年度永年勤続表彰(理事長・設置者、園長)

(勤続40年以上)	
学校法人相愛学園理事長	相田 芳久氏
(勤続30年以上)	
学校法人藤岡学園理事長	岡田 恭順氏
学校法人補陀学園理事長	
若竹幼稚園園長	山村 伊津子氏
学校法人補陀学園	
若竹こどもの森園長	増田 久仁子氏
(勤続20年以上)	
学校法人眞蹊樹小林学園理事長	
富士中央幼稚園園長	小林 直樹氏
(勤続10年以上)	
学校法人水元学園理事長	樺澤 智生氏
学校法人水元学園	
東新田ひばりこども園園長	加藤 よしえ氏



# 幼稚園 ICT 化計画

## 新しい働き方を目指して(その4)

井内 聖 (学)リズム学園学園長・恵庭幼稚園長



公立中学校教員を9年勤め、04年幼児教育へ転身。08年恵庭幼稚園長14年学園長、学園内の保育園や子ども園の園長を歴任。北海道大学大学院教育学研究院乳幼児発達論研究室在籍。

- ▶平成30年北海道胆振東部地震では安平町はやきた子ども園長としてお泊まり会中に被災(震度6強)子どもの居場所として被災2日後から園を地域に開放し、応急保育を行う
- ▶ICT活用の先進的な取り組みは全国から注目され、毎年150人を超える視察者が訪れる

この連載も今回が最後になりました。最終回は具体的なツールの紹介をしたいと思います。

### ～カオスマップとサービスの選択～

カオスとは混沌や混乱を意味する表現です。現在の保育業務支援サービスの一覧を示す資料が「カオスマップ」として表記されているのはとても興味深く感じます。それほど、多種多様なサービスがあるということです。

### —園業務Techサービス カオスマップ 2021—

The 'Chaos Map' displays various services across five categories:

- 事務業務支援 (Office Business Support):** Includes services like Hoisys, CoDMON, CCS, KidsView, Wel-KIDS, hugnote, KIDSNA, SiEN, Hoie, Child Care Net, Kids plus, Chi Reaff Space, おまもりせんせい, ママのこころ, コミュニ, おまもり保育園の先生, and PiPiO.
- 成長記録 (Growth Record):** Includes services like はいすーす, snapsnap, ぼくのフォト, e990, CoDMON, ぷろと, ぷろとふと, えんフォト, memoridge, LIME, and SHIMAUMA PRINT.
- 健康管理 (Health Management):** Includes services like エス7BeBe, hug safety, CCS SENSOR, cocolin, Baby Ai, and 換温チェック.
- 動画配信 (Video Distribution):** Includes services like オンライン保育, チャンネル, Star Child, Rappins, and ライブ配信.
- 保育サポート (Childcare Support):** Includes services like メディア, Clip, MeClip, PriPri Online, サブスタ, ToySub!, and EhonClub.

Copyright © SEN CORPORATION All right reserved

- 事務業務支援  
出席簿、指導要録、勤怠管理、バス連絡、保護者連絡帳など、毎日紙や電話ベースで行っていた業務です
- 健康管理  
園の午睡・検温チェックなど目視と紙記入だったものを目視に加えてセンサーにより検出し自動記録を行うサービスです。
- 成長記録  
行事などの写真販売をオンライン上でを行い、写真貼り出しや集金・集計や配布の手間をなくしたものです。卒園アルバム作成をオンライン上で行うサービスもあります。
- 動画配信  
休園や園イベントの参加制限などコロナ禍で特に伸びているサービスです。撮影した動画の配信や行事や保育のライブ配信など園と家庭をつなぐものとなっています。
- 保育サービス  
教材購入をオンライン上でできるものや園遊び



や保育のアイデアの共有サイト、またオムツの月定額制サービスです。

これだけたくさんサービスがあるとどれを選んでいいかわからなくなります。そのサービスが何の業務を軽くするのか整理が必要です。そこで前回の保育業務の見直しを踏まえて次の二つの視点で見たいと思います。

一つは保護者の園利用を便利にするもの。保護者から見えやすいのでフロント業務と名付けましょう。もう一つは先生の業務を支援するもの。こちらは保護者から見えないのでバックヤード業務としましょう。バックヤード業務はさらに二つに分けることができます。保育者の専門性が発揮されるものとそうでないものです。出欠管理や提出物管理に保育者の専門性は不要です。一方、指導要録や保育記録は専門性が必要となります。園としてどこに力を入れ、先生達にどのように動いてほしいのかで採用するサービスの優先順位が変わってきます。「先生達の専門性発揮に充てる時間を生み出したいからフロント業務を軽くする」「保護者サービスを充実させたいからフロント業務に力を入れる」同じフロント業務サービスを導入してもねらいが全然違います。オススメしないのは、よくわからないけど便利そうだから導入することです。ねらいが不明瞭なので運用し始めると現場が混乱します。またパッケージに入っているからとりあえず使うというのも奨めません。特にバックヤード業務の商品に多いのですが、色々と便利そうな機能が入っていて、せっかくだから使う、もったいないから使うとした結果、ICT化したのに業務が増えるという本末転倒の事態になることがあります。現状、その園で使っていないので何も困っていないのであれば無理して使う必要はなく、最小機能から使い始めて慣れてきたら徐々に使うものを増やしていくのがいいと思います。

分類	サービス例
クラウドストレージ (データ保存)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DropBox</li> <li>・ Googleドライブ</li> <li>・ One Drive</li> </ul>
チャットツール (情報共有)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Slack</li> <li>・ Chatwork</li> <li>・ LINE WORKS</li> </ul>
ウェブ会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Zoom</li> <li>・ Skype</li> <li>・ Googleハングアウト</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ G Suite (Officeアプリ)</li> <li>・ Trello (タスク共有)</li> <li>・ ペライチ (HP作成)</li> <li>・ Wix (HP作成)</li> <li>・ SELECT TYPE (予約、アンケート)</li> </ul>

## ～ ICT 化はオンライン化～

カオスマップで紹介されているサービスはすべてオンラインが前提です。初回で紹介したように ICT 化するためにはまず園内全域でインターネットに接続できる環境をつくるのがベストです。最低でも職員室の Wi-Fi (無線 LAN) 化は必須です。これからの時代、先生 1 人 1 台 PC、できれば 1 人 1 台スマートフォンが理想です。Android スマホだと低価格のものは 1 万円台からありますし通信料も月額 1,000 円前半 (担任時給 1 時間分より低額) からあります。ちなみに 1 人 1 台スマホがあるとデジカメ、SD カード、USB、ビデオ、ラジカセ、CD、タブレットが不要になります。

園内 ICT 化、オンライン化が進むと実は経費がかからなくなります。1 人 1 台スマホで様々な備品関係が不要になり、ペーパーレス化で用紙代も減ります。また対外会議が zoom といった Web 会議になると交通費や移動時間もなくなります。Slack というチャットツール (LINE のようなもの) を使えば職員間の情報共有もよりスムーズになります。市販の保育業務支援サービスはパッケージングされており保育に特化されていますが、その機能は表で紹介したサービスでも代替可能です。そしてこれらのほとんどは無料から始められ、学校法人向けライセンスで無償利用できるものもあります。

## ～幼稚園 ICT 化計画～

ここまで幼稚園 ICT 化計画として考え方や事例を紹介してきました。初回は ICT を進める意義と導入のポイント、2 回目は災害対応危機管理としての ICT、3 回目は ICT 導入による保育業務の見直しと整理、そして最終回は具体的なサービスとツールでした。しかし、どんなに技術が進んでも人が人である限り、幼児教育と保育が AI と ICT によって代替されることはないと思っています。人が人を育てる営為、人が育つ営みはプログラミングできず再現不可能なものだからです。しかし、働き方は別です。今年の新卒は 1 年間オンライン授業を受けてきました。ペーパーレス、オンラインの世界からいきなり紙とアナログの働き方だとその効率の悪さに辟易し、園や業界を変えることも考えられます。先生達が子どもと向き合い、思いきり遊び、笑い、明日の子どもの姿を思い浮かべながら「明日も頑張ろう」と思える時間を過ごせるよう園が一步踏み出し、新しい働き方をつくっていかれると思います。

# 乳幼児期におけるアタッチメントと非認知的な心の発達

その2

## —非認知的な心の力とは何か—



東京大学大学院教育学研究科教授  
同附属発達保育実践政策学センター長

### 遠藤 利彦

1962年山形県生まれ 東京大学教育学部卒業  
東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学 博士(心理学)  
東京大学教育学部助手、聖心女子大学文学部専任講師、  
九州大学大学院人間環境学研究院助教授、京都大学大学院教育学研究科准教授、  
東京大学大学院教育学研究科准教授を経て、現職  
専門領域は発達心理学・感情心理学・進化心理学など  
日本赤ちゃん学会理事・日本子ども学会理事・日本学術会議第25期会員など



前は、アタッチメントとはそもそも何であるのか、また、それに関連して、私たち子どもに関わる大人が、「安全な避難所」および「安心の基地」として、子どもが「安心感の輪」を安定して回れるように支えてあげることがとても大切だということについて述べました。今回は、その安定したアタッチメントのもとで、豊かに育まるとされる非認知的な心の力とは何なのかということに関して、概説してみたいと思います。

近年、とみに保育や幼児教育の分野で、「非認知」という言葉を頻りに耳にするようになってきているかと思いますが、こうした動向の火付け役となったものが、2000年にノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・ヘックマンなどによる教育経済学的研究であることは疑う余地のないところであると考えられます。既にご存じかも知れませんが、ヘックマンの研究の多くは、子育てや保育なども含めた教育への投資効果、すなわち人の生涯のどの時期の教育に、国や自治体などによる公的資金もお金を注ぎ込めば、最も効果的なのかということを探るものです。結論から言えば、就学前、すなわち乳幼児期における教育への投資効果が絶大であるということなのですが、彼がその根拠としているデータの一つに1960年代の初頭から開始された「ペリー就学前計画」と呼ばれる長期縦断研究があります。

アメリカのミシガン州にあるペリー小学校附属幼稚園が舞台になっているので、この名称なのですが、そこで対象とされたのは、アフリカ系アメリカ人の貧困層の子どもたちでした。経済的な困窮の中で家庭では、

不十分な形でしか教育やしつけを経験できていない子どもたちと考えるとよいでしょう。その研究では、まずはランダムに、そうした子どもたちを二つのグループに振り分けました。そして、一つのグループの子どもたちは、3歳から2年間に亘って、平日毎日、午前中に幼稚園に通い、初歩的な幼児教育のプログラムや遊びを中心とした活動を行うことになりました。また、1週間に1回、子どもたちの親は、先生から家庭訪問を受け、幼稚園と家庭における子どもたちの様子や発達や教育のあり方について話し合いを持つ機会を得ました。一方、もう一つのグループの子どもたちは、こうした介入を全く受けませんでした。

この二つのグループの子どもたちは、その後、複数の時点で、追跡調査を受け、様々な観点から比較されることとなります。今現在、その研究に参加した子どもたちは50歳を迎えており、50歳時点でのデータ収集が行われているのですが、現在までに公表されているのは、この子どもたちが40歳になった時までの結果です。それは、介入を受けたグループの子どもたちの方がはるかに、高校卒業率、収入、持ち家率などにおいて高く、逆に、離婚率、犯罪率、生活保護受給率において低いということ、すなわち、より経済的に安定しており、健全な市民生活を送れているケースが多いということを示すものでした。

もっとも、ここまでの話だけですと、介入を受けた子どもたちは、早期教育を受けられた分、きっと頭が良くなったから、すなわち「認知」的能力が引き上げ



られた結果、大人になってからも、仕事をちゃんとして、あまり犯罪に手を染めるようなことなく、より幸せな生活が送れているのだらうと考えたくなってしまいかも知れません。確かに、介入を受けた子どもたちは、幼稚園に通うようになった直後から、「認知」的能力の代表的な指標であるIQがぐっと伸びました。しかし、このIQの伸びは長続きしませんでした。というより、2年間に亘る介入計画が終了した直後から、二つのグループの差は徐々に狭まり、8、9歳時点ではほとんど違いがなくなってしまったのです。ここで注目すべきことは、頭の良さ、頭のでき、すなわち「認知」的能力そのものには何ら差異がないにもかかわらず、40歳時点での経済状態や幸福・適応状態においては歴然とした違いが認められたということです。ヘックマンは、この結果を受けて、乳幼児期において重要なのは、「認知」的能力というよりも、むしろそれ以外の力、すなわち「非認知」的な心の力をしっかりと身につけることなのではないかと考えるに至ったのです。

ヘックマン自身は、非認知的な心の力として、自分をコントロールする力、すなわち「自制心」や、目標に向かって我慢強くやり抜く力、すなわち「グリット」などを主に想定していたようですが、経済学者ということもあって、その具体的な中身に関しては、必ずしも詳細に論じている訳ではありません。ただ、心理学の領域に眼を向ければ、心の中の非認知的側面に対する着目は、ヘックマンの研究のはるか以前から豊かに存在していたと言うべきであり、現に、それに関わる理論的および実証的な研究は過去から現在まで連綿とつながってきています。心理学分野では、早くから、「非認知」という言葉こそ使われないにせよ、「認知」だけではなく、それ以外の心の性質もまた人の生涯に亘る心や身体の健康および幸福感などにきわめて大きな影響力を持つことが仮定されていたのです。おそらく、その心理学の考えに従えば、特に大切な働きをする非認知的な心の力は、自己と社会性に関わる多様な心の性質であると言えるような気がします。

自己に関わる心の力というのは、平たく言うと、自分を大切に、自分を律し、さらに高めようとする力と言えるかも知れません。例えば、自分を愛し自分の性質や能力に自信を持つ「自尊心」「自己肯定感」であったり、自分の様々な性質についての確に認識する「自己理解」であったり、自分の衝動を抑え自分の行動をコントロールしようとする「自制心」、また目標に向かって我慢強くやり抜く力、すなわち最近の流

行り言葉で言えば「グリット」であったり、あるいは自分の頭で考えて自分で決めて自分自身の力で行動しようとする「自立心」「自律性」のようなものであったり、そうした一連の心の性質を指し示すと考えていただければ結構かと思います。

一方、社会性とは何かというと、これは言ってみれば他者との関係を作って維持する力、他人と上手くやっていくための力のことです。もちろん、他者と上手くやっていくためには、まず他の人の気持ちというものが適切に理解できなければいけない訳であり、その意味では「心の理解能力」がその重要な要素になると言えるでしょう。また、誰かが困っていたらごく自然にかわいそうと思って手を差し伸べようとする力、すなわち「共感性」や「思いやり」も必要かも知れません。あるいは、集団の中で楽しく、そして安心して生活していくためには「協調性」、またルール・決まり・常識などを理解し守れる力、すなわち「規範意識」や何が良く何が悪いかを判断する力である「道徳性」などもとても大切な働きをします。こうした一連の心の性質を社会性に関わる心の力だと考えていただければよろしいかと思います。

既におわかりかと思いますが、実のところ、この自己と社会性に関わる心の力とは、一般的に私たち大人が、子どもにおいて、こういう力がちゃんと育てられたらいいなと直感的に願うものと言えるような気がします。あるいは、子どものみならず、大人も含めて人間が、健全で適応的な日常生活を送る上で必要不可欠な心の要素と言えるかも知れません。ちなみに、ヘックマンに代表される教育経済学の見解、すなわち、幼少期における非認知的な心の性質を重視する見方の影響力は相当に大きいものがあり、世界を見渡せば、それを受けて、教育のウエイトを、それまでの義務教育以降から、それよりも前の乳幼児期の方にシフトさせてきている国が徐々に増えつつあると言っても過言ではないような気がします。OECD（経済協力開発機構）なども、こうした教育経済学的知見に基づいて、そのレポートの中で、乳幼児期から児童期にかけて、非認知的なスキル、そこでは社会情緒的スキルを使っていますが、それを心の土台としてしっかりと身につけておくと、さらに高水準の様々なスキルや能力が、その上に確実に積み上がって、より大きな教育的成果を生み出すのだと主張しています。

次回は、こうした非認知的な力の発達になぜアタッチメントが重要な役割を果たすと言えるのかについて、論を進めたいと思います。

## 一年を振り返って

たかおかこども園 平林 伶菜

私は、中学生や高校生時代の保育実習をきっかけに子どもと関わる保育士になりたいという夢ができました。実際に実習に行った園の先生はいつも笑顔で優しく、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、子どもたちと共に楽しい時は思いっきり楽しむという姿勢や子どもや保護者から信頼されているところに私は憧れを持ちました。そして母園で憧れであった保育教諭となり、あっという間に一年が経ちました。昨年度は二歳児の担任となり、最初は分からないことや不安、戸惑いもあり、自分は保育教諭に向いているのかと自信を無くしてしまうことも何度かありましたが、先輩の先生方の子どもたちに対する声掛けや援助、保育環境、保護者への対応などを見て日々勉強をし、自らに取り入れて真似してやってみようと思いました。しかし、すべてが思い通りにいくのではなく、失敗してしまうこともたくさんありました。その経験から、失敗して気づくことや、子どもたちの発言からこういう考えもあるのだと新たに発見することもあり、次はもっとこうしてみようという目標を立てることができました。

また、先輩の先生方にアドバイスやご指導をしていただき、少しずつ自分の保育に自信をもつことができました。



まだまだ失敗することもたくさんあると思いますが、なぜ失敗してしまったのかと一日を振り返って反省をし、一つ一つの課題と真剣に向き合い、子どもたちの気持ちに寄り添うことができる保育を心掛けたいです。一年間を振り返っての子どもたちは、四月当初と比べて、一人でできることも増え、運動会や音楽発表会、表現発表会などの様々な行事から一年を通して、子どもたちが日々成長していく姿を間近で見ることができ、成長の喜びや感動を味わうことができました。保護者からの「ありがとう」の感謝の言葉だったり、子どもたちの「れいな先生!」「一緒に遊ぼう!」という声がとても嬉しく、保育をしてきて良かったなど日々やりがいを感じます。

保育教諭という職業は、子どもたちと接するだけではなく、保護者支援だったり、保育者間の連携も必要となります。良いことばかりではなく、大変なこともたくさんあるけれど、今年度は二年目という自覚を持ち、一年目で学んだことを生かしながら様々なことに挑戦をし、広い視野を持って、子どもたちの興味や笑顔を引き出すことができるよう成長していきたいです。そして、憧れの先生になれるようこれからも努力していきたいです。

## この一年で学んだこと

静岡若葉幼稚園 有菌 真咲

小さい頃からの夢だった幼稚園教諭になって、早くも一年が経ちました。新学期が始まったばかりの頃、「真咲先生」と呼ばれるたびに嬉しくなり、先生になったんだと改めて実感したことがつい最近のことのように思われます。この一年は、自分なりに考えて子どもに声を掛けるも、なかなか上手いかず悩む毎日でした。先輩の先生方の、子どもを惹きつけ、楽しませる保育を見て私もこんな保育をできるようにしたい!と思い、“見る・真似する・反省する”ことを繰り返してきました。そうしていく中で、改めて子どもの気持ちを理解しようとするこの大切さを感じました。まず子どもの気持ちを知り、寄り添うことで、子どもは安心でき、保育者の言葉が届くようになるのだと学びました。



なかなか集団生活に馴染めない子に対して、どう関わればいいのか悩んだときがありました。先輩の先生に相談すると、「一緒にやってみる?」「近くで見てる?」と、まずは集団に慣れることができるよう声を掛けてみたら!とアドバイスを頂き、次の日から実践しました。無理に集団に

入るよう促すのではなく、子どもに寄り添い、その子のペースに合わせようとする想いが伝わったのか、徐々に皆と行動を共にするようになりました。その経験を通して、独りで悩まず、周りの先生に相談し、みんなで保育をしていくことが子どものための保育に繋がっていくのだと学びました。

幼稚園教諭になるという夢を叶え、自分の保育に悩み、失敗して落ち込み、反省することもあります。毎日子どもたちと過ごせることがとても幸せです。笑ったり、泣いたり、喜んだり、悔しがったり…いろいろな表情を見せてくれる子どもたちがとてもかわいいです。子どもの頑張る姿を近くで見て、応援することができるこの仕事は本当に素敵だと感じます。これからも子どもたちといろいろな気持ちを共有し、子どもたちの成長する姿をたくさん見ることができるよう努力していきたいです。また、初心を忘れず、子どもの気持ちに寄り添い、もっともっと子どもたちと一緒に成長していきたいと思えます。



## 私の幼稚園時代の思い出

エンゼル幼稚園 小坂 美穂

私が幼稚園の頃の記憶にある思い出は、年長児の時のお泊まり保育です。当時、親元を離れることが初めてだった私は、小さいながら、お泊まり保育に対し、毎日不安に思っていました。お泊まり保育当日、布団で寝る時間になり、友だち全員が寝静まった後も私はなかなか寝付けず、先生達が集まっていた部屋に駆けつけ、大好きだった担任の先生に抱きしめてもらい安心して眠りについたことを今でもはっきりと覚えています。

これは、一つのエピソードにすぎませんが、私にとって、とても大切な出来事でした。小さいながら、「先生という人は、自分を守ってくれる優しい人なんだ。」と気づけたと思います。

この出来事が自分の中で大きかったのか、中学の頃の職場体験で、幼稚園で仕事を体験し、『自分もあの時の様な優しい先生になりたい。』と思い幼稚園の先生を目指すようになりました。

念願叶って、幼稚園の先生として働き始めた一年目。夢が叶ったと喜んでいたのも束の間。大勢の子ども達一人ひとりと向き合うことの難しさ、子どもの様子に合わせた日々



の保育の計画や準備、保護者の方とのコミュニケーション、苦手だったピアノの練習等…思っていた以上の大変さや、上手くいかない現状に落ち込むこともありましたが、子ども達は、どんな時でも目を輝かせながら「今日も楽しかったね」と話をしたり、「大好きだよ」と手紙をくれたりと、

いつでも自分の味方でいてくれました。そんな子ども達にも、自分が幼稚園の時に感じていた『幼稚園は楽しいところ』と思ってもらいたいと願い、先輩の先生方にたくさん指導していただき、年数を重ね少しずつ自分の保育ができるようになりました。

毎日同じ保育の流れでも、その年、その子どもによって日々の見え方、日々の成長は変わっていて、今年で八年目となりますが、今までと同じ日は、一

度もありません。今、在園している子ども達と向き合って、私が幼稚園の頃感じたような、嬉しかった気持ちや楽しかった幼稚園の思い出を子ども達一人ひとりの記憶に少しでも残せるように、日々を大切にこれからも過ごしていきたいと思ひます。

## 笑顔を大切に

ちどり幼稚園 清水 恵美

振り返れば小さい頃からの夢をかなえて幼稚園の先生になり、毎日へとへとになりながらも楽しく充実していた若かりし頃を思い出します。結婚、出産を機に一度は幼稚園の先生という職業を離れ、子育てに専念していた時期もありました。我が子が幼稚園に通うようになり、「今だったらお母さんの気持ちもわかるのに…」「もっとこんな風に子どもたちと接することができるのに…」という思いが強くなり、縁あって現在の幼稚園にお世話になることとなり、9年目を迎えました。そして、この春突然園長先生から総括主任という任命を受け、正直クラス担任を離れるさみしさや戸惑いを感じた私です。

子どもたちに、「せんせいは、なにいろぼうしになったの?」「どこのおへやのせんせいになったの?」と聞かれるたびに、「みんなの先生になったんだよ」と返事をしてきた4月。その言葉の通り、毎日各クラスをまわり、子どもたちの様子を見るのが日課となっています。進級当初、新し



い環境に慣れず不安で泣いていた子が、今では新しい友だちもでき、笑顔で遊んでいる姿を見ると我が子のように嬉しく思います。今までかかわりの少なかった子どもたちとも距離が縮まり、「せんせい」と甘い抱きついてきたり「ず〜っとみてよ」と言ってくれるようになり、子どもたちの笑顔が元気の素になっています。

の笑顔が元気の素になっています。

クラス担任とは違い、園全体を把握し子どもの安心、安全を第一に考え環境を整えておくことはとても大変です。今まで気付かなかったことや見えていなかったと感じることも多く改めて考えさせられ、また反省することもあります。この一年は何事も勉強だと思ひ、園長先生の指導の下、総括主任として

の仕事を務められるよう努力していきたいと思ひています。若い頃からずっと心掛けてきた笑顔を大切に、子どもたちはもちろん、保護者、一緒に働いている職員みんなが毎日明るく、楽しく元気に過ごせる環境作りを目指して頑張っていきたいと思ひています。

## 子供への思いと PTA 活動

西ヶ丘幼稚園 PTA 花園会会長

石橋 摩未

我が家は2年前の春、長女が小学校に、次女が幼稚園に入るタイミングで東京より引っ越してきました。夫の転職という大人の都合につきあわせ、子供に、大切な友達や生まれ育った町から離れるつらさを経験させることになり、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

引越しの片付けもそこそこに、次女の幼稚園を決めるため、近所の西ヶ丘幼稚園を訪問しました。園長先生に園舎を案内していただき、二階に上がり廊下一面の窓から大きな富士山を見た時には思わず声をあげてしまいました。また、園庭で遊ばせていただいた子供の様子を見ていた先生が「良い子育てをされていますね」と仰り、つらい思いをさせているのにという気持ちと、子供のためにも良い環境だと信じて静岡にきた思いが報われるような、色んな思いで張りつめていた気持ちがゆるみ、ほっとしたことを覚えています。

次女は、誰に似たのかとても活発で、決まりにしばられるのが大嫌い、自由を愛する性格の子供らしい子供です。そのあふれる好奇心を満足させてやり、のびのびと育ちながら、社会との折り合いの付け方も自然に学ばせてやりたい。そんな私の思いにも次女にも、西ヶ丘幼稚園はぴったりだったようで、汗びっしょり

になって運動したり、自由な発想で絵を描いたり様々な工作をしたり、笑顔いっぱいの大好きな先生方やたくさんのお友達と毎日たっぷり遊んでいます。

さて、私が役員になった理由の一つに、長女の東京の幼稚園で見てきた役員さんの姿があります。家事育児はもちろん仕事もされていたり、小さな下の子を抱えながらの方もいましたが、和気あいあいと活動されていました。手のかかる次女に振り回されていた私はその充実した姿が少し羨ましく、次女が幼稚園に入ったら何かさせていただこうと思っていました。実際にやってみると、やはり大変なこともありますが、たくさんの方の友人に恵まれ、とても楽しく活動してきました。

今年には会長として、先輩方の思いを受け継ぎ、子供たちの楽しく安全な幼稚園生活の一助となるように。またPTA活動が、役員の皆様方の充実した日々の一コマとなるよう、精一杯努めてまいります。



## 子供たちの園生活と家庭生活

焼津幼稚園 PTA 会長

亀澤 雅

我が家には、小学2年生の長女と年長の長男がいます。長女は満3歳児の頃のクラス担任の先生から卒園時、「入園したての頃、いや！とって教室から園庭に走って出て行っちゃったのを今でも覚えているよ」とお声掛けいただく程、物怖じせず自我が強い好奇心旺盛なやんちゃな子でしたので、よく妻を困らせていました。今でもそうですが、そんな長女なので、園での共同生活が心配でした。ですが初めての運動会で園生活を拝見した時、お友達と楽しくお話ししていたり家ではめったに見せない緊張した顔を見ることができ新鮮でした。面談ではしっかりと考えて行動でき、面倒見もよいと先生が言ってくださったと聞いた時は、ほっとしたと同時に家とのギャップに驚いたこともあります。家とは異なる長女を発見し、成長していく姿を見られました。

年長の長男は、長女と真逆で、人見知り甘えん坊な、どちらかという内気な性格で、やはり始めは大泣きでしたが、長女に手を引かれなんとか登園していました。いつでも長女の後を追ひ、長女を頼りに園生活を過ごしていたので、長女が卒園を迎え、不安な気持ちを克服し一つお兄さんになって“お姉ちゃんのい

ない幼稚園”に通う姿にはこみ上げるものがありました。その頃から長男に変化がおきてきたと感じます。人見知りが減り自分の意見をしっかりと言えるようになり、自立心が養われたように思います。家庭でも活発になり私たちを困らせることが増えましたが、日々成長していく長男を頼もしく思います。

園での生活と家での生活が子供たちを成長させ、学校生活へ向けての基盤を作っていると思います。園では先生方の愛情のもとすてきな友達と共に、家庭では未熟な親なりに考え関わりをもち、幼稚園のスローガンである最後まであきらめない子に成長して欲しいと思います。

コロナ禍でも、先生方、保護者の方々のご尽力により、縮小しながらも開催できている行事があり、子供たちの頑張っている姿や楽しんでいる姿をなんとか見ることができていますが、やはり音楽祭は大きなステージでたくさんの観客の前で、運動会は全学年同時に開催してあげたいと思うので、マスクを外した子供たちの笑顔溢れる日常が早く戻ることを願うばかりです。





# 新型コロナウイルスと子ども・保育者の健康

## ③変異ウイルスとワクチンと子どものはなし

宮入 烈

浜松医科大学小児科教授  
(6月～)

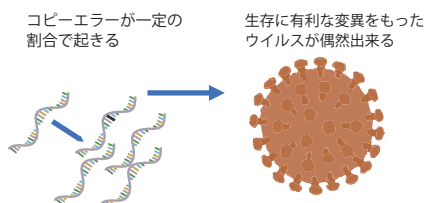
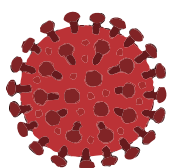
新型コロナウイルス (COVID-19) の変異ウイルス (変異株) とワクチンが連日ニュースをにぎわしています。今回は、子どもに関わるところに注目してみたいと思います。

### 1) 変異ウイルスとは

新型コロナウイルスは、自分の遺伝子情報をコピーすることによって増えていきます。コピーをするときに一定の確率でエラーが起こり、ウイルスの設計図である塩基配列が変わります。これを変異といいます。設計図が変わることで時に新しい機能を獲得することがあり、より感染しやすくなったり、免疫を避ける力がついたりします。このようなアドバンテージがあれば、競争に勝った変異ウイルスが蔓延する事になります。5月現在日本で優勢になっているのは、英国由来と考えられている変異ウイルスです。

このウイルスは、従来株と比べて感染力が約 1.5 倍とされています。単純な比較でこれまでのウイルスが倍々(2,4,8,16…)と増えていったのに対して、3,9,27,81…と増えますのでその差は歴然です。厄介なことに大人の場合は、重症化しやすい事も知られています。

子どもについても、以前のウイルスと比べると2倍程度感染しやすい事がわかっています。実はこれまでのウイルスは成人と比べると子どものかかり易さは半分程度と言われていました。今回の変異ウイルスは大人と同じくらい子どももかかるのではないかとされています。ただ、それでも子どもの感染者の多くは親から感染しています。インフルエンザのように、子ども同士でうつして親も感染してしまうという構図はあてはまりません。また、幸いなことに、子どもが重症化する傾向は見られていません。したがって、基本的にこれまでと同様に大人がかからないように気を付けることが一番です。昨年のような一斉休校の効果は乏しいと考えられます。



例)  
スパイク蛋白(表面の突起)が変わりヒトの細胞に着きやすくなった(感染しやすくなる)  
抗体が結合しにくくなる(ワクチンが効きにくくなる)

### 2) 元の生活を取り戻すためにはワクチンが必須

緊急事態宣言を受けての自粛や感染対策はこれまで、ずっと繰り返してきました。初回の緊急事態宣言の際は、接触を8割減らし一時的ではありますが、感染者を大きく減らしました。その後は、with corona を合言葉にマスクや3密回避などで対応して一定の効果を上げましたが、度重なる感染者の増加はこの対策に限界があることを示しています。

ロックダウンとワクチンの大々的な接種を行ったイスラエル、英国などでは急速に感染者が減り、制限解除後も今のところリバウンドがみられていません。理論上は、接触を8割減らすのと同じ効果が感染防止効果が9割あるワクチンを9割の人に接種することで得られます。現在国内では20～30万回の接種が毎日行われていますが、ペースを上げ一気に接種を進めることができれば望んでいる日常生活がみえてきます。変異ウイルスにより、ワクチンの効果が減弱する可能性はありますが、少なくとも英国由来の変異ウイルスは現行のアストラゼネカ社やファイザー社製のワクチンでコントロールできていますし、また流行の拡大を止めることが新たな変異ウイルスの出現のリスクを下げることになります。

### 3) 子どもとワクチン

現時点で国内において承認されているワクチンは16歳以上を対象としたものです。北米では、12～15歳への接種が承認され接種が進んでおり、それ未満の年齢の子どもたちには治験が行われています。子どもへのワクチンの是非を考える場合は、子どもにおける新型コロナウイルス感染症が比較的軽症であることや、ワクチンの副反応の発生率が少なくないことを加味して慎重に考える必要があります。

子どもへの感染の多くは大人からのものである現状を踏まえると、今の時点では子どもを取り巻く大人である私たちが接種をうけることが一番大事だと考えます。

なお、私事で恐縮ですが6月から所属が静岡県(浜松市)に変わりました。縁とは不思議なものです。子どもたちの健康を守るために一緒に頑張りましょう。



何人乗り!?



ありがとう



新聞アールさもちい〜!



サツマイモのツルさしをしたよ



どろんごたのしい〜♪



自分たちで作ったじゃがいも・たまねぎを使ったカレーパーティー♪



できてきたね



ちよんちよん絵の具、楽しいね♪



キャーつめたいっ



シャボン玉あそび

### 編集後記

令和3年度こそ、昨年の出来事を教訓として学び、全力を尽くして子どもたちの不利益にならないよう、安全で希望に満ちた教育保育の実現を目指していかなければと思います。今まで以上に働き方が多様化します。あらゆる分野でデジタル化が進みますが、同時に今までの対面教育（保育・イベント・研

修等）がますます重要な価値を持つようになってくると感じています。それぞれの長所が両立された新しい社会に対応し、人の心を大切にする幼児教育を一步一步前進させていきましょう。

しらゆりこども園 白井 祐子



このQRコードを携帯端末で読み取ると、HPの携帯サイトへアクセスできます。